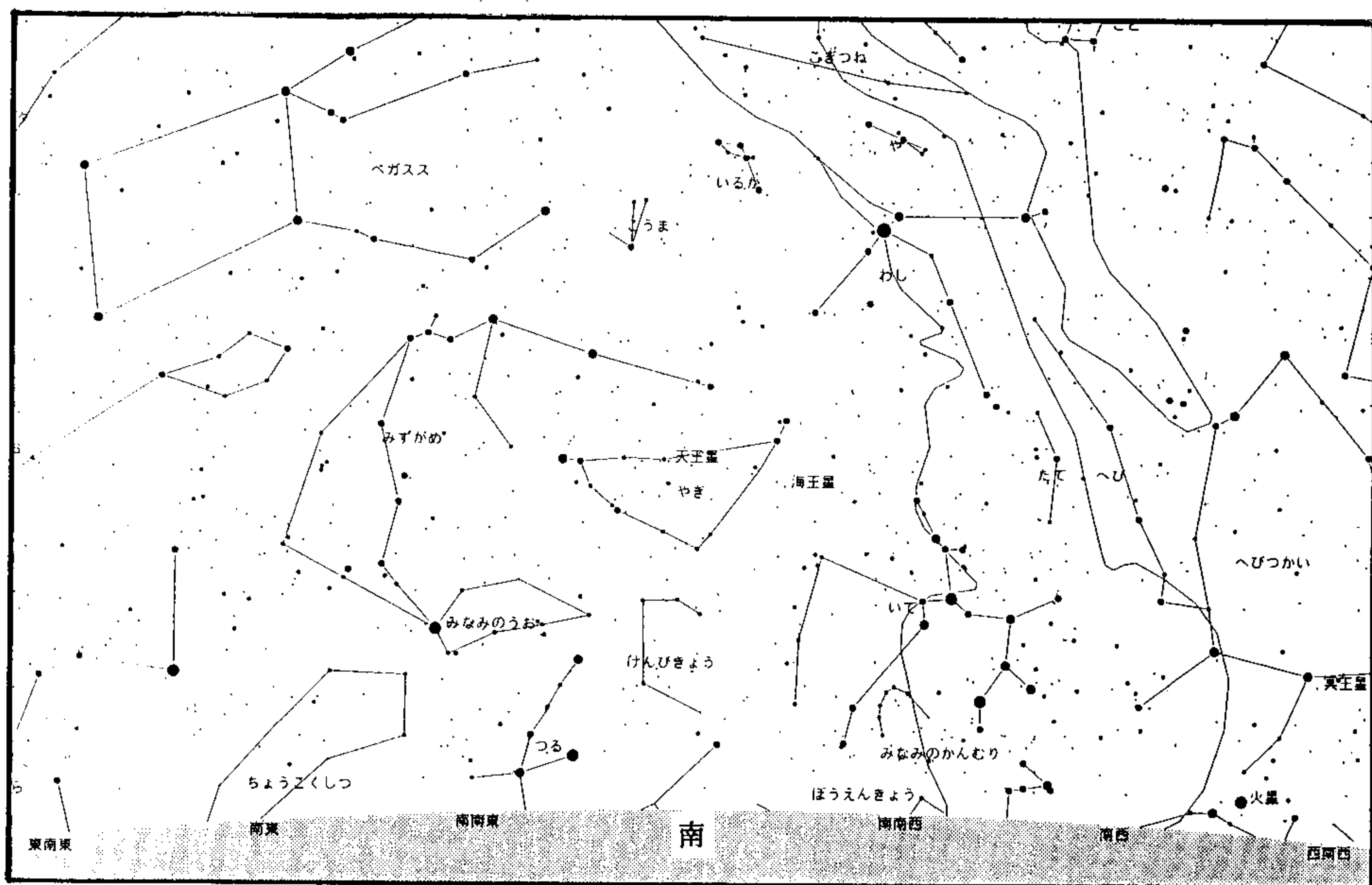


プラネタリウムへようこそ！

入間市児童センター－9月の星空（資料協力：児童センター天文ボランティア）



※上の星図は9／1の夜10時、9／15の夜9時、9／30の夜8時頃の南方向の星空です。

===< 9月の星空>===

9月になると、日の入り時刻も早くなり、夜の時間が長くなります。太陽が沈み、暗くなった時に見える星座は、夏の大三角や天の川が見えますので、小さな子どもには星空に親しむ絶好の季節になります。

【木星】約12年かけて太陽を1週する木星は夜半に南の空にマイナス2.5等級の明るさで輝きます。強烈な明るさのため秋の星座を知らない人も簡単に木星を見つけることができます。

【土星】木星がわかったら、木星の左下に赤っぽい星が見えます。（手を伸ばしこぶし1個分左下に土星があります）土星は約30年かけて太陽を一周（公転）する惑星です。望遠鏡を使うと神秘的な環を見ることができます。

===< 仲秋の名月>===

日本では、旧暦の8月15日の夜の月を“仲秋の名月”といって、すすきやおだんごをそえて、お月見をします。満月は1年で約12回ありますが9月の満月を“仲秋の名月”と言うのは、ちょうど秋の収穫の時期で豊作を祈る農民の願いが込められています。また、秋の満月はほどよい高さになるためお月見に最も適していると言えます。（冬の満月は高くなるが、夏の満月は低すぎる）

※9月24日（金）が“中秋の名月”です。

【金星】明けの明星として、東の空に輝きます。

9月下旬になると、マイナス4.6等級にまで明るさを増して最大高度になります。明け方の東の空、しし座とかに座の間で輝きます。

【火星】夕方の南西天で赤く輝きます。

てんびん座からサソリ座を移動していきます。